

西部コミセン上映会

川崎市子どもの権利条例をもとに、子どもの居場所としてできた「川崎市子ども夢パーク」を舞台にしたドキュメンタリー。この4月武蔵野市も子どもの権利条例が施行されて1年が経ちます。ありのままの自分で過ごせる場所について考えてみませんか。



「ゆめパのじかん」

2022年/90分/ガーラフィルム、ノンデライコ

作品紹介

「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。小さな子ども連れの自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集っています。ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子も…。みんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出した作品。

開催日

4月20日(土)

上映時刻

10:00-12:00
14:00-16:00 (3回)
18:00-20:00

場所

西部コミセン1Fロビー

対象

どなたでも。授乳室を用意します。

定員

各回33名(先着)

費用

無料

申し込み

4月1日(金)から申込フォームか、電話、直接窓口まで。



申込フォーム



お問い合わせ
メールアドレス

※字幕版をご希望の場合は4月7日までに
ご連絡ください。

主催：西部コミュニティ協議会